

Japanese Unexamined Utility Model Publication No. 59-42740
Published on March 21, 1984

Title

Room mirror for automotive

Scope of Claim

A room mirror for automotive, comprising: a mirror body a rear face of which is in contact with a front face of an existing mirror; an upper clamper protrudingly fixed to an upper rear face of said mirror body; a lower clamper protrudingly disposed to a lower rear face of said mirror body; a guide mechanism supporting said lower clamper such that said lower clamper can move vertically relative to said mirror body; a stopper disposed to be engaged in a latch portion formed on said lower clamper when said lower clamper moves downwards; a spring always suppressing said lower clamper upwards; and a mechanism detaching said stopper from said latch portion.

公開実用 昭和59—42740

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭59—42740

⑫ Int. Cl.³
B 60 R 1·04
G 02 B 5·08

識別記号

厅内整理番号
7443—3D
7036—2H

⑬ 公開 昭和59年(1984)3月21日

審査請求 未請求

(全 頁)

⑭ 自動車用ルームミラー

東京都新宿区桜町3番地株式会
社カーメイト内

⑮ 実 願 昭57—138383
⑯ 出願 昭57(1982)9月14日

⑰ 考案者 井上弟比古

⑰ 考案者 岩佐至悦
東京都新宿区桜町3番地株式会
社カーメイト内

東京都新宿区桜町3番地株式会
社カーメイト内

⑰ 考案者 中込菊男

⑯ 出願人 株式会社カーメイト

東京都新宿区桜町3番地

⑰ 代理人 弁理士 渥木誠一

明細書

1. 考案の名称

自動車用ルームミラー

2. 実用新案登録請求の範囲

自動車用ルームミラーの前面にその背面が対接される広角ミラー本体と、この広角ミラー本体の上部背面に突設固定した上部クランパーと、下部背面に突設した下部クランパーと、この下部クランパーを広角ミラー本体に相対的に上下動自在に支持するガイド機構と、前記下部クランパーを下動したときこれに形成した係止部に係合するよう設けたストッパーと、前記下部クランパーを常時上方に抑制するばねと、前記ストッパーを前記係止部から離脱せしめるための機構とより成ることを特徴とする自動車用ルームミラー。

3. 考案の詳細な説明

本考案は自動車用ルームミラー、特に既設のルームミラーに優せて用いる広角の自動車用ルームミラーに関するものである。

一般に自動車においては、後方を確認するためのミラーとしてアウトサイドミラーのほかに車内に設けられるルームミラーが必要である。而して従来のルームミラーにおいては通常平面鏡が用いられ、従つて当該ルームミラーに映する視野が狭く、後方の確認を常に完全に行うことことができない。しかも既設のルームミラーは自動車のメーカー或いは同一のメーカーであつても車種によつて異なる手段で取付けられているため、広角のミラーに交換するためには既設のルームミラーの取付方式に応じた広角ルームミラーが必要であり、費用も高いものとなる。

本考案は上記の如き欠点を除き、自動車のメーカー、車種を問わず如何なる自動車にも適用することができる広角のルームミラーを提供するものである。

本考案の自動車用ルームミラーは、自動車用ルームミラーの前面にその背面が対接される底角ミラー本体と、この底角ミラー本体の上部背面に突設固定した上部クランバーと、下部背面

に突設した下部クランパーと、この下部クランパーを広角ミラー本体に相対的に上下動自在に支持するガイド機構と、前記下部クランパーを下動したときこれに形成した係止部に係合するよう設けたストップバーと、前記下部クランパーを常時上方に抑制するばねと、前記ストップバーを前記係止部から離脱せしめるための機構とより成ることを特徴とする。

以下図面によつて本考案の実施例を説明する。

図中1は広角ミラー本体、2はその機枠を示し、本考案においては機枠2の上部背面に既設のルームミラー3の上面に対接される上部クランパー4を突設固定し、機枠2の下部背面に既設のルームミラー3の下面に対接される下部クランパー5を突出して設ける。

この下部クランパー5は第3図～第5図に示すように機枠2の背面から突出するクランプ部分6とこのクランプ部分6から直角に上方に折れ曲つた短柵部分7とより成るL字状の板によつて形成し、この短柵部分7にはガイド溝8を

設け、機枠2に突設したガイドピン9をこのガイド溝8内に係合せしめ下部クランバー5を機枠2に沿つて上下に摺動自在にガイドせしめるようになるとと共に機枠2に取り付けたばね10の遊端を前記短柵部分7の上部に係合して下部クランバー5を機枠2に相対的に常時上方に抑制せしめる。

又前記短柵部分7の上端一側に略三角形のくぼみ11を形成し、このくぼみ11に係合する一方の遊端を有するL字状ストッパー12の中央部を前記機枠2に回動自在に枢支し、このストッパー12の他方の遊端をばね13によつて常時前記一方の遊端が前記くぼみ11に係合する方向に抑制せしめる。

又前記ストッパー12の他方の遊端を前記ばね13に抗して前記くぼみ11から離脱せしめる方向に抑制する押釦14を前記機枠2に上下方向に移動自在に設け、この押釦14の先端が常時前記ストッパー12の他方の遊端に対接されるよう前記ばね13より弱いばね15を前記

押釦 14 と機枠 2 間に介挿せしめる。

尚必要に応じて第 6 図に示すように前記クランプ部分 6 の突出端部にはピン 16 を介して L 字状のホルダ 17 の基部を回動自在に枢支し、このホルダ 17 の一方の遊端上面には突起を有するゴム片 18 を被着し、このゴム片 18 の突起が既設のルームミラー 3 の下面に対接されたとき、ホルダ 17 の他方の遊端が既設のルームミラー 3 の背面中央部に対接されるようとする。

本考案自動車用ルームミラーは上記のような構成であるからその使用に際しては先づ第 4 図に示すように下部クランバー 5 を機枠 2 に相対的にはね 10 に抗して下方に押し下げ、短樋部分 7 のくぼみ 11 にストッパー 12 の一方の遊端を係合せしめる。この状態では下部クランバー 5 は機枠 2 より十分下方に下つた位置で機枠 2 に係止された状態になり上部クランバー 4 と下部クランバー 5 間の間隔は十分な大きさとなるのでその間に既設のいかなる車種のルームミラー 3 でも位置せしめることが容易となる。

既設のルームミラー3を前記上部クランパー4と下部クランパー5間に位置せしめた状態で押釦14を押せばストッパー12の他方の遊端が押されストッパー12が回動し、第5図に示すようにその一方の遊端が短柵部分7のくぼみ11から離脱するので下部クランパー5がばね10の作用で機枠2に相対的に上方に移動し上部クランパー4と下部クランパー5によつて既設のルームミラー3をその上下より強固に保持するようになる。

上記のように本考案自動車用ルームミラーにおいては押釦14を押すだけのワンタッチで広角のルームミラーを既設のルームミラーに極めて簡単に取り付けることができる大きな利点がある。

尚ホルダ17を有する場合には第6図に示すようにホルダ17の一方の遊端が既設のルームミラー3を上部クランパー4に向つて上方に押圧する力Pを発生すると共に他方の遊端が既設のルームミラー3の背面中央部を横方向に押圧

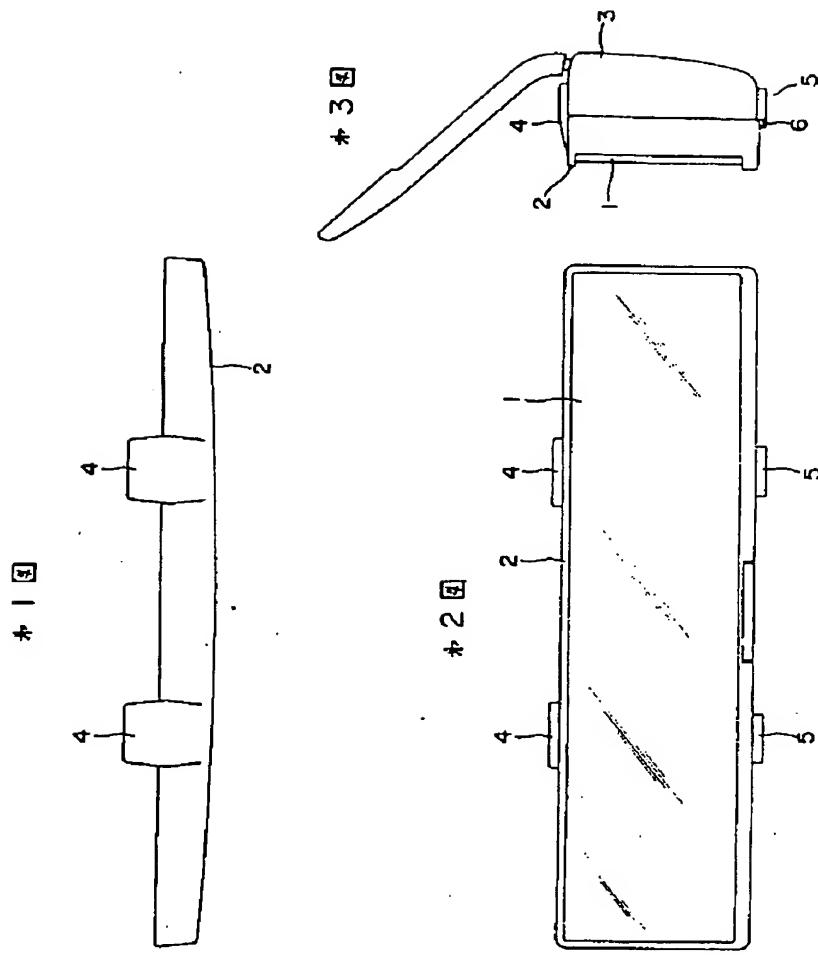
する力 P' を発生し、結局ミラー 3 は上、下、背面の 3 点で支持されることになり広角のミラーの取付が一層完全となる大きな利益がある。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図、第 2 図は夫々本考案自動車用ルームミラーの平面図及び正面図、第 3 図は既設のルームミラーに取付けた状態の側面図、第 4 図、第 5 図は夫々一部のミラー部分を除いて示したその正面図、第 6 図は本考案の他の実施例説明図である。

1 … 広角ミラー本体、 2 … 機枠、 3 … ルームミラー、 4 … 上部クランパー、 5 … 下部クランパー、 6 … クランプ部分、 7 … 短柵部分、
8 … ガイド溝、 9 … ガイドピン、 10 … ばね、
11 … くぼみ、 12 … ストッパー、 13 … ばね、
14 … 押釦、 15 … ばね、 16 … ピン、
17 … ホルダ、 18 … ゴム片、 P 、 P' … 力。

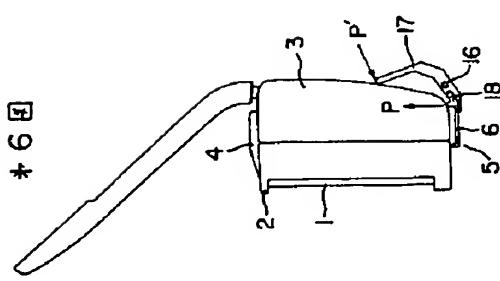
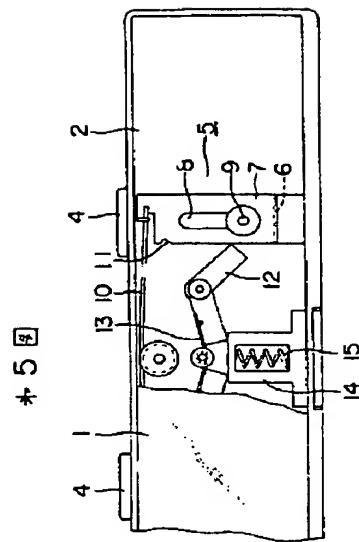
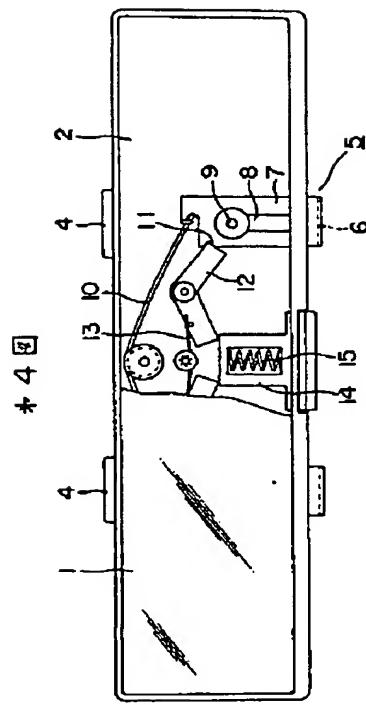
代理人 弁理士 澤木誠一



代理人辨士 澤木誠

403

昭和59-42740



代理人鈴木 淳一郎

1974.11.27.40
406